

**山梨県都市計画審議会マスタープラン委員会  
第4回資料**

**II. 目指すべき県土構造の検討**

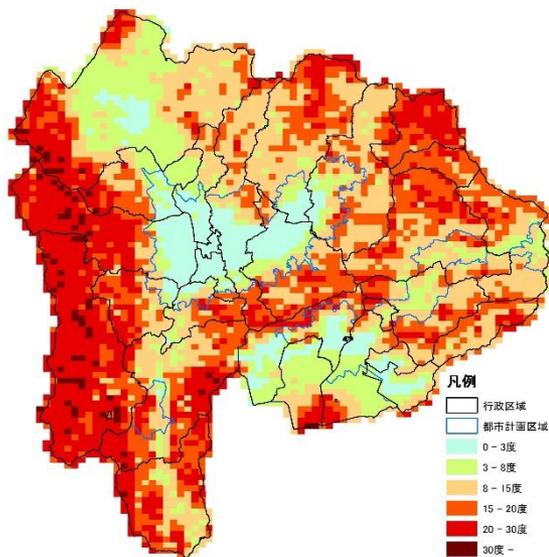
# 1. 県土の特性

# 地勢

## “急峻な山岳に囲まれ平地が少ない地形”

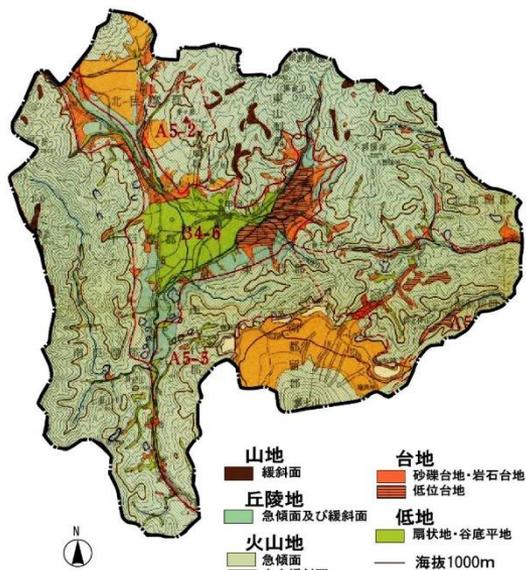
- ・急峻な山岳に囲まれ、都市的土地利用に適切な平坦地が少ない。
- ・都市的土地利用の適地は、甲府盆地低地、富士北麓火山緩斜面、八ヶ岳周辺火山緩斜面がある。
- ・甲府盆地と富士北麓の間には御坂山地があり、地形的に分断。
- ・水系は、南アルプス北部から静岡県へ流れる富士川水系、山中湖から神奈川県へ流れる相模川水系、県北部から東京都へ流れる多摩川水系。
- ・富士北麓には、富士五湖(山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖)がある。

【傾斜分類図】



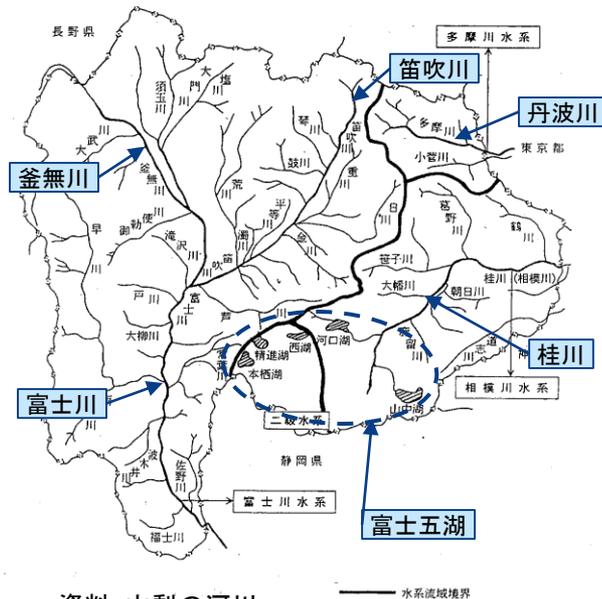
資料: 国土数値情報

【地形分類図】



資料: 都道府県別土地分類基本調査(国土交通省)

【主な河川・湖沼】



資料: 山梨の河川

# 交通網

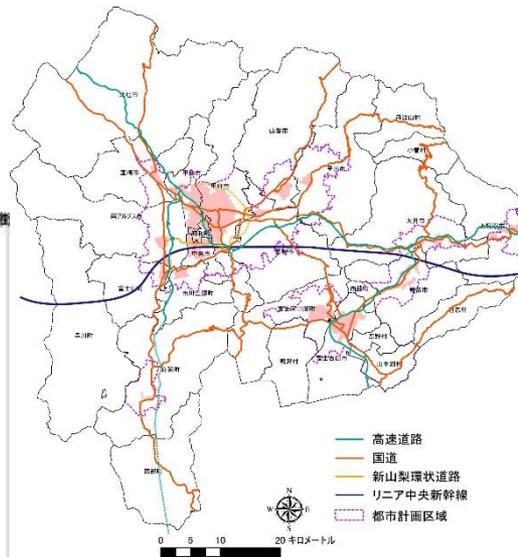
“古くは街道・富士川舟運等が発展、今後はリニア中央新幹線により東京・名古屋・大阪との時間距離が大幅に短縮”

- ・江戸期には、甲州街道や舟運の発達により、物資の流通や文化の流入が促進。
- ・中央本線は、明治36年笹子トンネル開通により甲府に通じ、昭和3年には身延線が全線開通。昭和40年代から中央本線の輸送力が急速に向上。
- ・昭和57年中央自動車道の全線開通で自動車の広域アクセスも向上。
- ・今後はリニア中央新幹線により、東京・名古屋・大阪などとの時間距離が大幅に短縮。また、中部横断自動車道の完成により、太平洋沿岸地域との連携が強化。

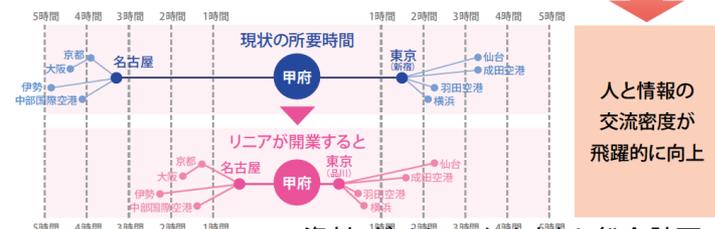
【県内の古道】

【主要幹線道路】

【リニア中央新幹線による時間短縮】  
リニア中央新幹線開業で大きく変わります



リニア中央新幹線開業後、甲府と東京都心は約25分(新横浜と同等)で結ばれるようになり、中京圏・関西圏への無理のない日帰り旅行も可能になります。また、主要な空港への所要時間が大幅に短縮されます。



人と情報の交流密度が飛躍的に向上

資料：ダイナミックやまなし総合計画

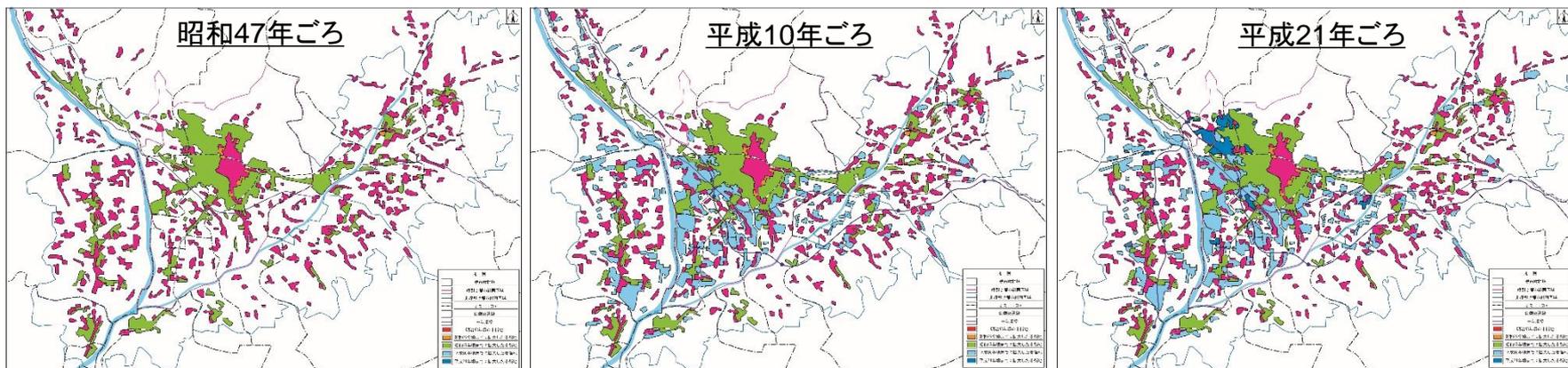
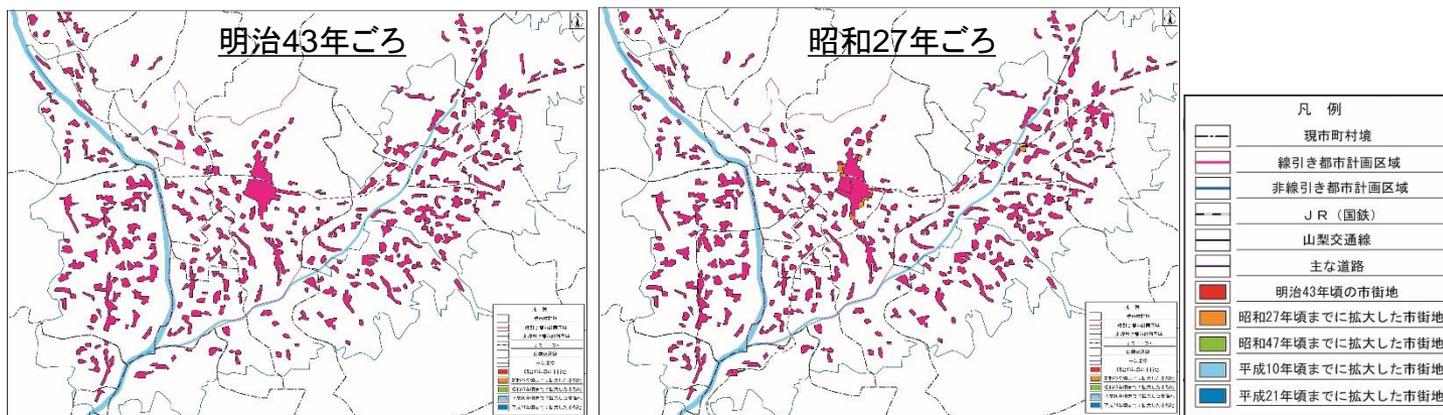
# 市街地

“城下町、門前町、農村集落などを基礎として市街地が発展”

- ・本県の市街地は、城下町、門前町、街道筋の宿場町、舟運の拠点等に加え、農村集落を基礎として発展してきた。
- ・甲府市やその周辺市町村では、市街地や集落間の宅地化が進行し、連担した市街地が形成された。

## 【甲府盆地における市街地形成の変遷】

※国土地理院地形図を基に作成

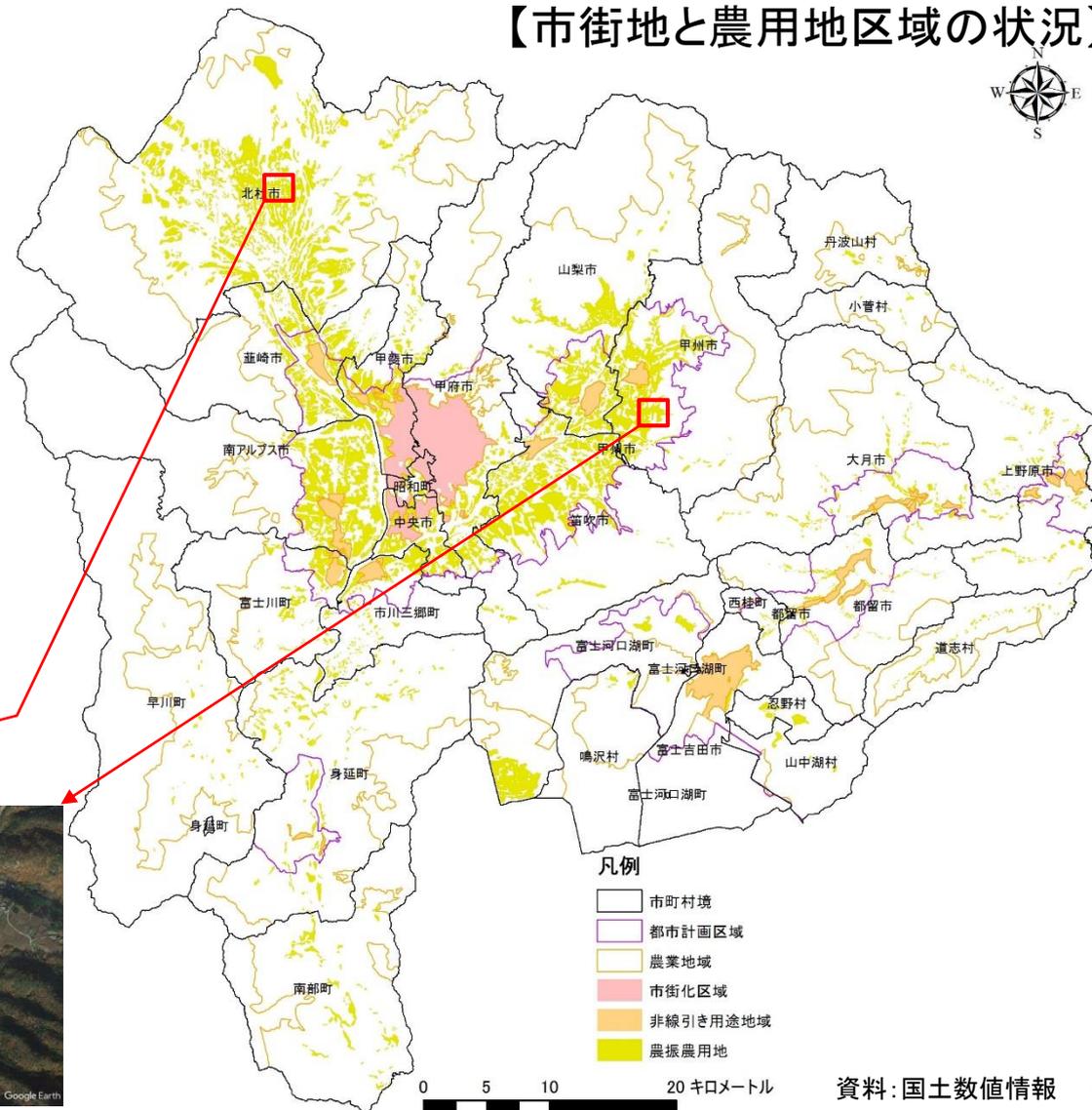


# 農地、農山村集落

“市街地周辺に広がる農地、各地に点在する農山村集落”

- ・甲府盆地の市街地周辺を中心に、樹園地や水田等が広がっている。
- ・八ヶ岳南麓や富士北麓には野菜生産や畜産などがみられる。
- ・市街地近郊、山麓の高原地域、台地・丘陵の里山地域、谷間や山腹等に点在するかたちで農山村集落が形成。

【市街地と農用地域の状況】



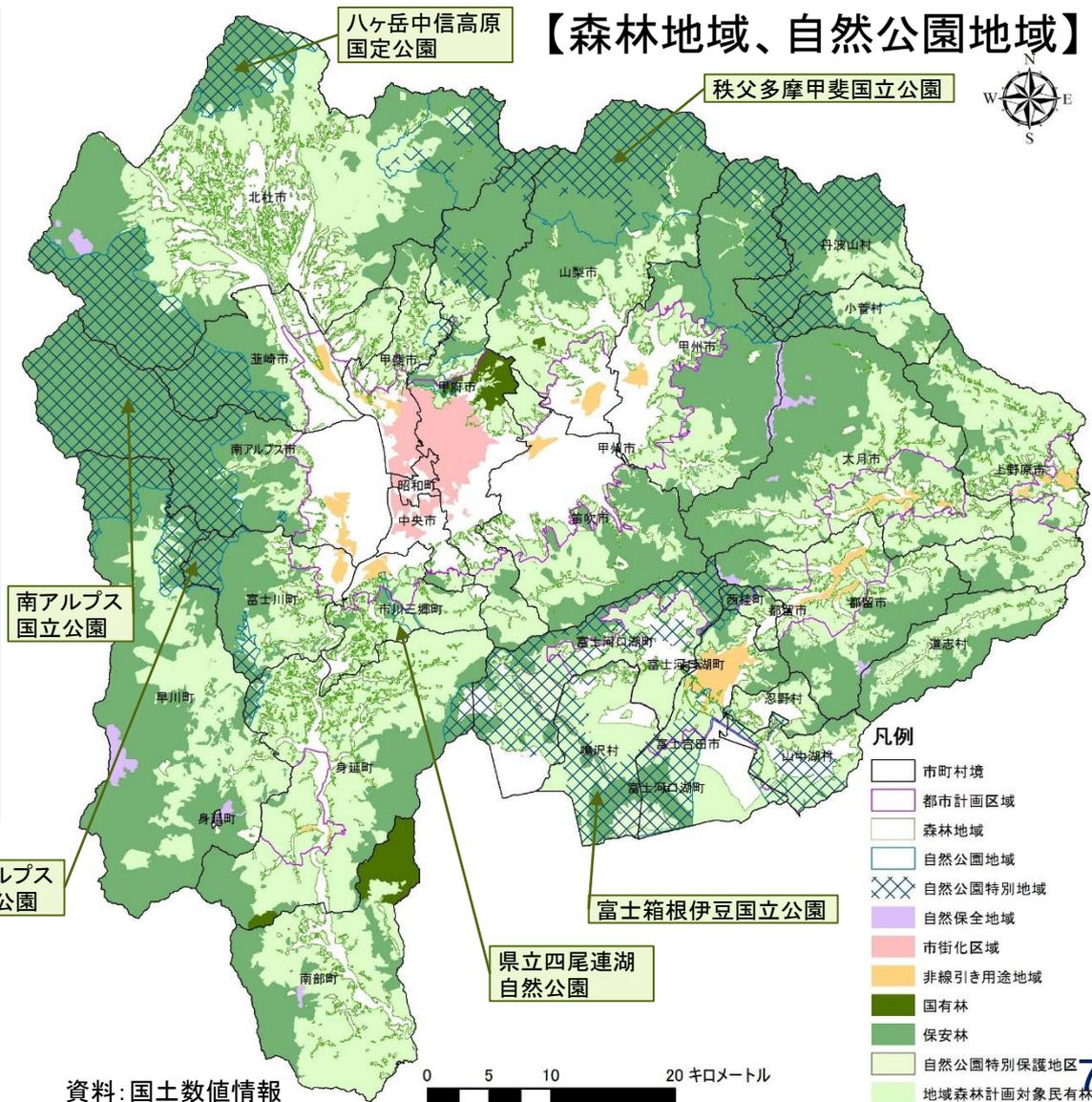
【農地の中に集落が点在する状況】  
(北杜市) (甲州市)



# 山地・森林

“市街地や農地を囲むように森林・自然公園が広がる”

- ・県土面積の約78%を森林地域が占める。
- ・市街地や農地を囲むように森林地域や自然公園地域が広がっている。
- ・市街地に近い地域から地域森林計画対象民有林が広がるが、そのうち保安林は比較的離れた地域に多い。
- ・3つの国立公園、1つの国立公園、2つの県立自然公園が指定されている。

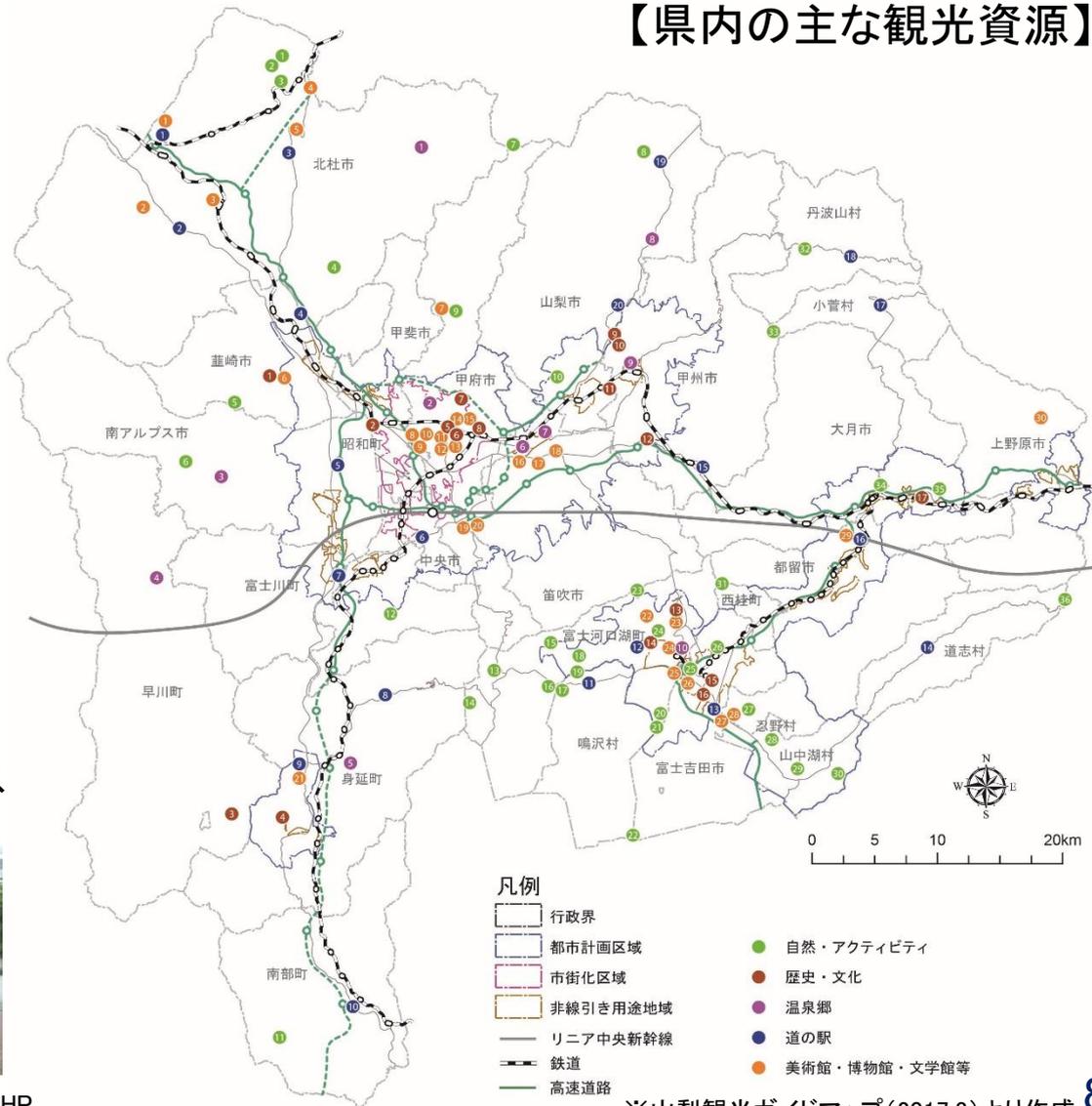


# 観光地

## “県内各地に自然・歴史・文化などの豊富な観光資源が立地”

- ・県内各地に、自然・アクティビティ、歴史・文化、温泉郷、道の駅、美術館・博物館・文学館等の観光資源がある。
- ・富士山の世界遺産登録以降、観光客数は増加しており、平成28年は約3,205万人。
- ・マイカー以外で観光資源を巡ることができるよう、鉄道駅等と観光地を結ぶ公共交通も運行。

【県内の主な観光資源】



河口湖を周遊する  
レトロバス



清里ピクニックバス



資料：富士の国やまなしHP

※山梨観光ガイドマップ(2017.3)より作成

# 1. 県土の特性

## 観光地

### 【県内の主な観光資源】

- 1 清里高原
- 2 東沢大橋
- 3 吐竜の滝
- 4 フラワーセンターハイジの村
- 5 甘利山
- 6 夜叉神峠
- 7 金峰山
- 8 西沢渓谷
- 9 昇仙峡
- 10 笛吹川フルーツ公園
- 11 福士川渓谷
- 12 四尾連湖
- 13 精進湖
- 14 本栖湖
- 15 西湖いやしの里根場
- 16 富岳風穴
- 17 鳴沢氷穴
- 18 西湖
- 19 紅葉台
- 20 富士すばるランド
- 21 船津胎内樹型
- 22 富士山
- 23 新道峠
- 24 河口湖
- 25 富士急ハイランド
- 26 新倉山浅間公園
- 27 忍野八海
- 28 山中湖花の都公園
- 29 山中湖
- 30 パノラマ台

- 31 三ツ峠
- 32 丹波山溪谷
- 33 大菩薩峠
- 34 岩殿山
- 35 桂川ウェルネスパーク
- 36 道志渓谷

- 1 武田八幡宮
- 2 信玄堤公園
- 3 赤沢宿
- 4 身延山久遠寺
- 5 武田信玄公像
- 6 舞鶴城公園
- 7 武田神社
- 8 甲斐善光寺
- 9 放光寺
- 10 恵林寺
- 11 清白寺
- 12 大善寺本堂
- 13 河口浅間神社
- 14 富士御室浅間神社
- 15 御師旧外川家住宅
- 16 北口本宮富士浅間神社
- 17 名勝猿橋

- 1 こぶちざわ
- 2 はくしゅう
- 3 南きよさと
- 4 にらさき
- 5 しらね
- 6 とよとみ
- 7 富士川
- 8 しもべ
- 9 みのお富士川観光センター
- 10 とみざわ
- 11 なるさわ
- 12 かつやま
- 13 富士吉田
- 14 どうし
- 15 甲斐大和
- 16 つる
- 17 こすげ
- 18 たばやま
- 19 みとみ
- 20 花かげの郷まきおか

- 1 増富ラジウム温泉郷
- 2 湯村温泉郷
- 3 芦安温泉郷
- 4 西山温泉郷
- 5 下部温泉郷
- 6 石和温泉郷
- 7 春日居温泉郷
- 8 三富温泉郷（川浦温泉）
- 9 塩山温泉郷
- 10 富士河口湖温泉郷

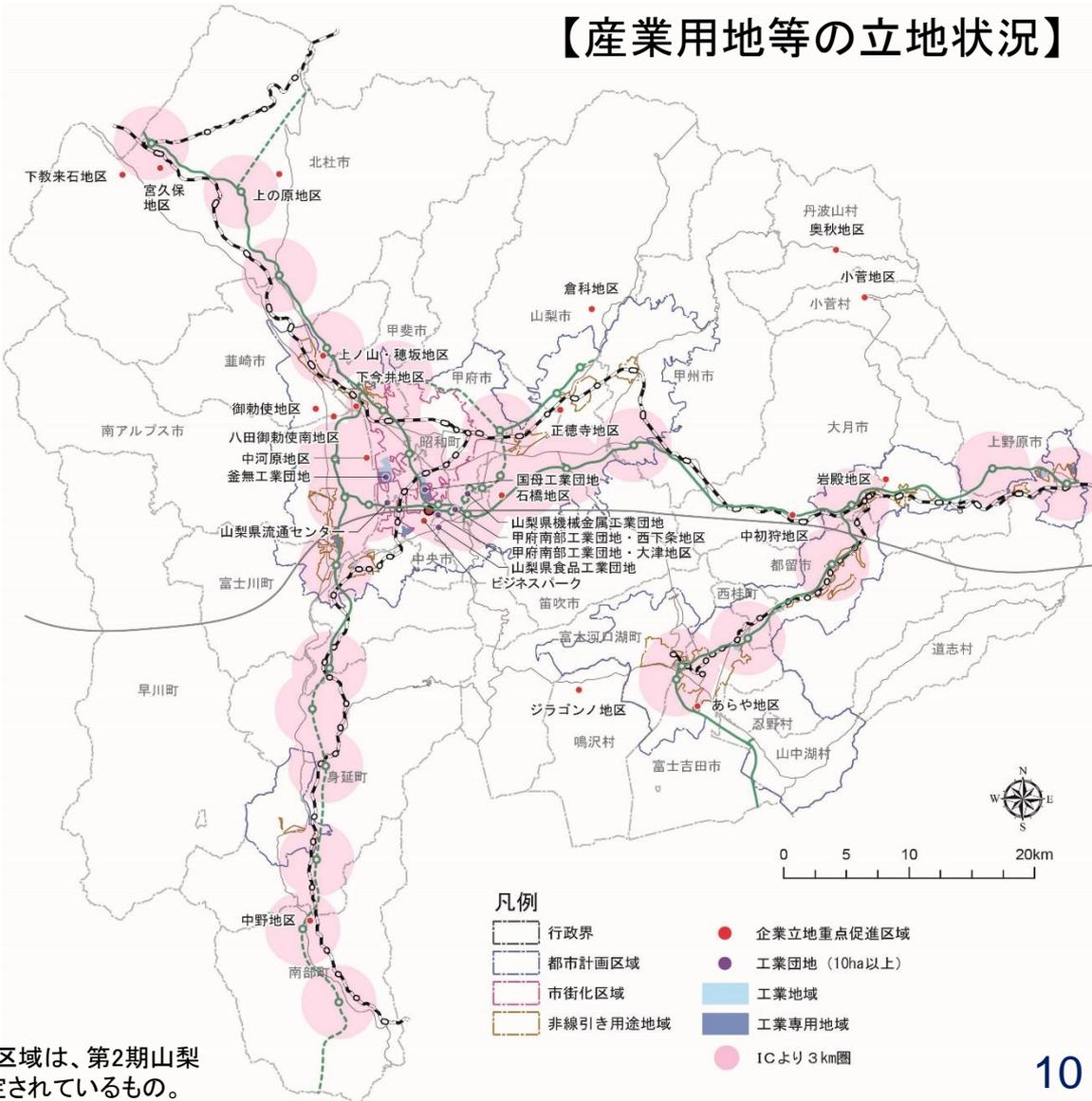
- 1 中村キース・ヘリング美術館
- 2 サントリーウイスキー博物館
- 3 清春旅と空想の美術館
- 4 ホール・オブ・ホールズ
- 5 清里フォトアートミュージアム
- 6 韮崎大村美術館
- 7 昇仙峡影絵の森美術館
- 8 県立美術館
- 9 山梨県立文学館
- 10 クリスタルミュージアム
- 11 山梨近代人物館
- 12 山梨ジュエリーミュージアム
- 13 印傳博物館
- 14 小さな蔵の美術館
- 15 県立科学館
- 16 やまなし伝統工芸館
- 17 山梨県立博物館
- 18 お菓子の美術館
- 19 山梨県立考古博物館
- 20 象牙彫刻美術館
- 21 富士川切り絵の森美術館
- 22 久保田一竹美術館
- 23 河口湖オルゴールの森
- 24 山梨宝石美術館
- 25 山梨県立富士山世界遺産センター
- 26 フジヤマミュージアム
- 27 ふじさんミュージアム
- 28 県立富士湧水の郷水族館
- 29 山梨県立リニア見学センター
- 30 ふるさと長寿館

# 工業地

## “高規格幹線道路の周辺に産業用地等が集積”

- ・中央自動車道や中部横断自動車道の供用区間沿いに事業所の多い地域が集中している。
- ・やまなし未来ものづくり推進計画(H29.9)では、促進区域を県全域とし、“機械電子産業”などの基幹産業の発展とともに、“食品・飲料産業”、“宝飾等の伝統的産業”、“情報通信関連産業”の振興を図ることとしている。

【産業用地等の立地状況】



※図中の企業立地重点促進区域は、第2期山梨県企業立地基本計画で指定されているもの。

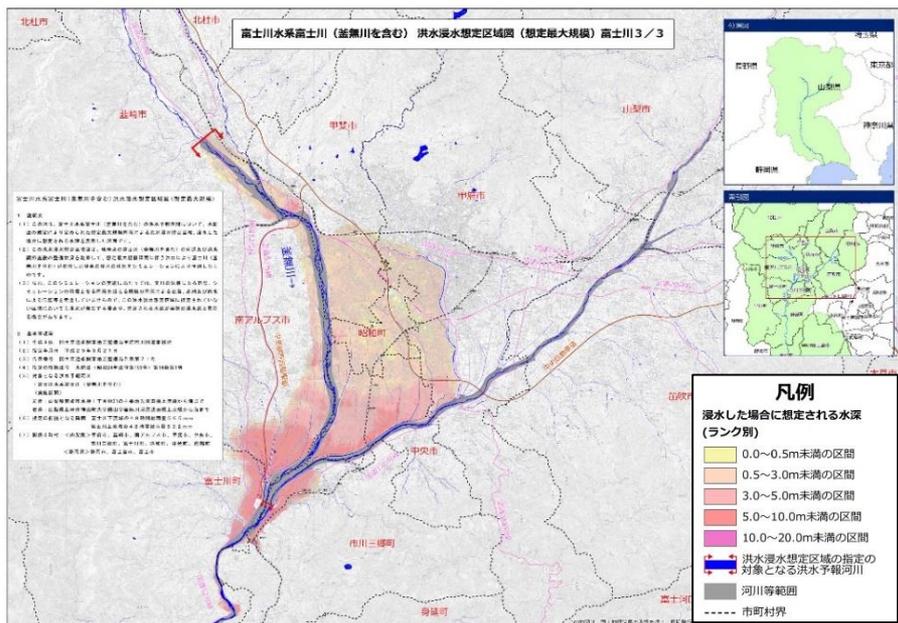
# 災害

## “浸水は甲府盆地、土砂災害は山間部で指定”

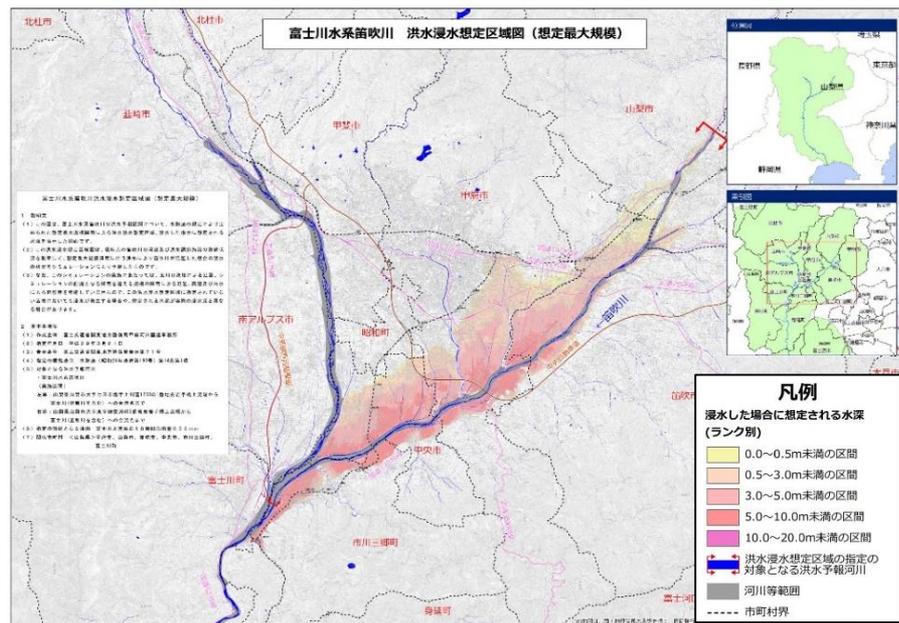
・浸水想定区域は甲府盆地の広い範囲で示されており、特に甲府盆地南部の笛吹川兩岸や、釜無川と笛吹川の合流部付近で浸水深が高くなっている。

### 【浸水想定区域(想定最大規模)】

#### (釜無川)



#### (笛吹川)



資料: 国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所HP

# 災害

## “浸水は甲府盆地、土砂災害は山間部で指定”

・土砂災害警戒区域及び同特別警戒区域は県土全域の山間部で多く指定されている。

【土砂災害警戒区域等】

